

「令和元年度事業報告書」

公益社団法人 滋賀県私立病院協会

公益社団法人滋賀県私立病院協会 令和元年度事業報告書

令和元年度においては、当協会の設立目的である、滋賀県内の民間病院、会員施設の相互協力によって医療提供施設の発展と質的向上による安定した医療の提供及び看護師はじめ必要な人材の養成並びに地域社会との連携による県民の公衆衛生、健康の保持と社会福祉の増進に寄与することを使命として、令和元年度事業計画に基づき会員病院の協力を得て次のとおり実施しました。

特に、平成30年3月に改定された「滋賀県保健医療計画」により、効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するため、すべての人がそれぞれの地域でその人らしく健康的な生活を送り、安心して人生の最期を迎えることができるよう、保健、医療、福祉が一体となって生活を支える「医療福祉」の仕組みづくりを目指して取り組みました。

こうした中、当協会は地域の住民が地域で安心して過ごせるよう、また民間病院として「地域包括ケアシステムの構築」の実現に向けてその役割を果たすべく、積極的に参画しそれぞれの地域や立場の中、取り組みを行って参りました。

また、当法人の公益目的事業の主要事業として管理運営している滋賀県堅田看護専門学校は平成3年の開校以来、今日まで1,000名を超える卒業生を輩出、看護師として養成し、その大多数が会員病院はじめ県内病院に勤務している実績は、開校の目的と会員病院はじめ県内の看護師確保及び地域住民の安全と安心の確保に多大の貢献をしているところであります。

併せて、県内病院病床数の約半数を占める民間病院を会員とする本協会の活動の実態が広く地域住民及び関係機関に理解と支援が得られるよう、あらゆる機会をとらまえ一丸となって発信に努めました。

そして、令和元年度は協会設立30周年記念式典を開催し、当協会及び会員病院が滋賀県民の医療、介護、福祉の充実に向けてより一層地域医療に貢献できるように取り組む決意を新たにした年でもありました。

1. 協会の組織力の強化

会員相互の団結と協調をより強固とするため次の事業を重点的に実施しました。

(1) 協会設立30周年記念事業として記念式典、記念講演会、記念祝賀会を開催した。

併せて、機関誌「ふらんく11号 30周年記念号」を発刊した。

開催日時 令和元年11月9日(土)

会場 びわこ大津プリンスホテル

(2) 総会の開催 通常総会(令和元年6月13日:32会員、43名が出席)

(3) 理事会の円滑な運営と指導体制の強化(理事会/毎月開催、8回開催)

(4) 事務長部会との連携と指導の強化

(5) 滋賀県堅田看護専門学校との連携と指導の強化(運営会議/毎月開催、8回開催)

(6) 会員への情報提供の強化と会員の拡大(情報ネットワークによる情報提供/13件)

2. 行政との協調と対話

医療提供者としての役割と責務を果たすために、県、各市町はじめ関係行政当局及

び関係機関との協調に努め、会員病院の現状認識の共有とその実態に即した円滑な実施への理解と支援を求めました。

(1) 滋賀県知事あて次年度の予算編成に向けての要望書を提出（9月12日）

滋賀県健康医療福祉部 川崎部長はじめ医療関係部署の幹部に面会し、以下の要望書を提出し、地域包括ケアシステムの推進と医療、介護、福祉のサービスの包括的な提供体制における私立病院の役割について意見交換し、併せて看護学校の運営、施設整備、教員確保、実習施設確保などについて更なる支援を要望した。

要望事項

「医師確保について」

「看護に携わる人材確保について」

「介護職員の不足について」

「医療分野におけるICT活用促進について」

「滋賀県堅田看護専門学校の支援について」

(2) 滋賀県医療審議会に出席（7月8日、8月30日、12月11日、3月23日）

医療法の規程に基づき滋賀県の医療供給体制の確保などに関する重要事項を審議する場として設置された滋賀県医療審議会の委員として、当協会の古倉理事が出席し、滋賀県保健医療計画の進捗、滋賀県医師確保計画、外来医療計画等に対する審議を通じ、『県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀の実現』の実現に向けて私立病院が果たす役割などについて、発信を行なった。

(3) 滋賀県地域医療対策協議会に出席（7月23日、10月15日、11月25日）

医療法の規程に基づき滋賀県の地域や診療科の医師偏在の解消を協議する場として設置された滋賀県地域医療対策協議会の委員として、当協会の古倉理事が出席し、滋賀県医師確保計画等に対する審議を通じ、『県民一人ひとりが輝ける健やかな滋賀の実現』の実現に向けて私立病院が果たす役割などについて、発信を行なった。

(4) 当協会の主催する職員研修会に、滋賀県健康医療福祉部 角野理事様、彦根保健所 切手所長様、滋賀県健康医療福祉部 小林課長様を講師として招聘し、滋賀県の医療情勢・医師の確保について、直近の滋賀県の状況について講演を頂きました。

(5) 滋賀県知事あて「新型コロナウイルスの感染症への対応に関する緊急要望」を提出（令和2年3月13日）

滋賀県知事に面会し、全国的に拡大する新型コロナウイルス感染症への対応に関する緊急要望書を提出し、会員病院に支援を行うように要望をした。

3. 関係諸団体との協調と連携

医療制度、医療保険制度への提言と課題など当面する課題について、近畿病院団体連合会等との連携により取り組みました。

また、地域医療における共通する身近な課題の解決のため、滋賀県医師会、滋賀県病院協会はじめ各関係諸団体との情報の共有と協調に取り組みました。

* 令和2年度県予算編成に対する要望

自民党滋賀県議員団：6月3日

チームしが県議団：9月12日

* 近畿病院団体連合会委員会への参加

事務局：兵庫県病院協会 第1回：7月31日／第2回：2月28日（中止）

- * 近畿病院団体連合会事務長会への参加
事務局：大阪府私立病院協会 第1回10月11日：／第2回：3月6日（中止）
- * 「日本医療マネジメント学会第17回京滋支部学術集会」の後援（京都：2月15日）
主催：京都第一赤十字病院（当番会長）
- * 滋賀県病院大会に出席（2月2日）
- * メディカルジャパン2020大阪の後援（大阪：2月26日～28日）
主催：リード エグジビション ジャパン（株）

4. 研修会・広報事業及び情報交換

(1) 講演会・研修会の開催

- ① 職員研修会（令和2年2月6日（木）：医療研修施設ニプロiMEP）
会員病院の幹部職員はじめ104名の参加を得て開催しました。
研修内容
講演1 講師 医療経営管理研究所 副所長 藤井 茂 様
演題 「次期診療報酬改定の要点」
講演2 講師 滋賀県 彦根保健所 所長 切手 俊弘 様
滋賀県健康医療福祉部 医療政策課長 小林 靖英 様
演題 「滋賀県の医療情勢について」
意見交換会・懇談会
講演会講師各位、会員病院はじめ計42名の参加を得て開催
- ② 協会設立30周年 記念講演会
(令和元年11月9日（土）：びわ湖大津プリンスホテル)
会員病院の幹部職員はじめ131名の参加を得て開催しました。
講師 天台宗総本山 比叡山延暦寺 執行 小堀 光實 様
演題 「伝教大師最澄さまの魅力」
- ③ 新任職員等研修会
(平成31年4月23日（火）：大津市北部地域文化センター)
会員病院の新任職員、堅田看護専門学校の新入生、職員等170名の参加を得て開催しました。
研修1 接遇研修
講師 日本医業経営コンサルタント協会 黒岩 一起 様
演題 「医療に携わるあなたと病院のための接遇」
研修2 人権研修
講師 (公財)滋賀県人権センター 人権啓発担当 奥村 友子 様
演題 「患者さんの人権を尊重するために」
- ④ 「診療報酬改定」研修会
(令和元年11月20日（水）：草津市立市民交流プラザ)
会員病院、医療関連施設から、事務長はじめ96名の参加を得て開催しました。
講師 スリーエムジャパン(株)ヘルスケアカンパニー 高水 勝 様
演題 「最近の医療環境のトピックス」
- ⑤ 「事業継続計画（BCP）」研修会

(令和元年12月11日(水)：栗東芸術文化会館)

会員病院の事務長はじめ33名の参加を得て開催しました。

講師 東京海上日動火災保険(株) 大町 明弘 様

演題 「災害病院の実際に学ぶ事業継続計画(BCP)検討のポイント」

(2) 研修会、講演会の公開、会員病院・看護専門学校の専門技術、知識、設備を活用した地域貢献事業を実施しました。

- ① 研修会、講演会を公開講座として実施しました。
- ② 公益法人としての地域貢献として、会員病院及び関係機関が主催、共催する各種研修会、講演会等の事業に後援、協賛、共催しました。
- ③ 自治会、医療・介護施設への教員の派遣、教育機材の貸出しをしました。
- ④ 高校などの要請に基づき、看護師を志す生徒に模擬事業、体験学習を実施しました。

(3) 会員親睦事業の実施

- ① 会員病院相互の親睦を深めるためゴルフ大会を実施
春期ゴルフ大会／ 4月25日 14名
秋期ゴルフ大会／ 11月14日 13名
- ② 会員病院及びその職員の持ち家取得促進として、住宅メーカーと締結した協定の広報に努めた(協定した住宅メーカーから住宅購入、建設請負の契約を行った場合、割引価格となる。)
協定している住宅メーカー 大和ハウス工業株式会社／積水ハウス株式会社

5. 生活習慣病予防健診等健診事業の受託推進

協会けんぽの保健事業として実施される生活習慣病予防健診事業の受託実績の拡大に取り組みました。

令和元年度実績 17施設 40,525件(前年度比107.6%)

6. 事務長部会の円滑な運営と会員病院間の連携

当協会事業の実施に中核的役割を担っている事務長部会は、次の事業を積極的に実施し、当協会事業の円滑な推進と会員病院相互の連携と情報の共有に努めました。

- (1) 定例事務長部会の開催
- (2) 常任事務長会の開催
- (3) 各研修会の開催と運営
- (4) 総務／医療経営／医療安全／各委員会活動の充実強化
- (5) 堅田看護専門学校と連携し、円滑な運営に協力
 - ① 学校運営会議委員として出席
 - ② 学校運営協力病院事務長会の開催
 - ③ 入学試験の実施に協力
 - ④ 社会人推薦入試にかかる事前学力検査の実施
- (6) アンケート(電子カルテ導入状況)の実施

7. 堅田看護専門学校の健全な運営と優秀な学生の確保並びに看護師の養成

(公益目的事業)

この事業は、当協会の公益目的事業であることを共通認識とし、円滑な学校運営に努めました。

(1) 学校運営の円滑な推進と指導体制の強化

- ① 関係法令、通知等の遵守
- ② 教員の確保と教育体制の整備
- ③ 管理会議の開催 (毎月)
- ④ 職員会議の開催 (毎月)
- ⑤ 教務会議の開催 (毎月・随時)
- ⑥ 学校運営会議による指導管理体制の強化 (運営会議 / 8 回開催)
- ⑦ 入学試験合否判定会議の開催 (11月・1月・3月)

(2) 優秀な学生確保と看護師の養成

- ① 設立主旨・奨学金制度の周知広報と受験生・奨学生の確保 (年間)
- ② 学校訪問による学校案内と生徒指導の要請
6月 / 県内16校 県外18校
- ③ オープンキャンパスの実施 (8月3日・4日 / 参加者34名)
(奨学金相談コーナー設置した会員病院 / 16病院)
- ④ ミニオープンキャンパスの実施と受入れ (年間12日開催 / 56名)
- ⑤ 各種学校説明会・模擬授業、看護体験等の実施 (年間 / 15会場・136名)
- ⑥ ホームページ、パンフレット等による広報活動の推進 (年間)
- ⑦ 令和2年度入学試験の実施

実施結果 (推薦入試11月15日 / 一前期般入試1月9日・11日 / 一般後期入試3月1日)

		応募者	受験者	合格者	入学者	
推薦入試	指定校	11 (11)	11 (11)	11 (11)	11 (11)	
	公募	10 (4)	8 (4)	8 (3)	8 (3)	
	社会人	3 (9)	3 (9)	3 (9)	3 (8)	
一般入試	前期	一般	54 (75)	49 (69)	36 (37)	17 (11)
		社会人	8 (12)	8 (11)	5 (5)	1 (4)
	後期	13 (22)	12 (18)	9 (11)	8 (9)	
合計		99 (133)	91 (122)	72 (76)	48 (46)	

():31年度

(3) 教育内容と学生指導の充実強化

- ① 学生情報の共有による留年・退学の予防と対策の強化
- ② 国家試験対策等学生指導体制の充実 (試験 / 2月16日 発表3月19日)
【国家試験結果 受験者 / 36名 合格 / 34名 合格率94.4%】
- ③ 設立主旨・奨学金制度の周知広報と受験生・奨学生の確保 (年間)
- ④ 実習施設の充実と確保及び会員病院への協力要請
- ⑤ 非常勤講師の確保及び会員病院への支援要請
- ⑥ 実習施設・実習指導者及び非常勤講師との情報の共有と連絡調整の徹底
- ⑦ 看護の日特別講演 (5月10日 / 89名出席)

29期生46名・28期生39名・27期生2名・教員2名
テーマ「あなたの考える看護とは」 グループワーク

- ⑧ 協力病院看護部長懇談会の開催
(5月23日/17病院出席 : 11月29日/18病院出席)
 - ⑨ 講師会議の開催 (4月2日/10名出席)
 - ⑩ 実習指導者学習会の開催 (8月9日/43名出席)
協力病院15施設28名・臨地実習3施設12名・県内看護専門学校3校3名
テーマ「適応に問題のある学生にどう対応するか
～精神医学的視点から～」
 - ⑪ 保護者・協力病院とのネットワーク体制の確立による適切な学生指導
保護者懇談会の開催 (入学式・戴帽式当日・年度末に保護者面談)
 - ⑫ 卒業生との交流と支援
卒業生交流会の開催 (6月27日/18名 : 11月30日/6名)
 - ⑬ 図書室の効果的な運用と図書整備
蔵書・文献検索指導と支援
講師、教員に対する教育文献の検索支援と文献資料の提供
図書室の利用時間の延長 (利用者延べ853名) ※3月は新型コロナで休止
学校図書委員会の開催 (3回開催)
学生図書委員会の開催 (31回開催)
図書室だよりの発行 (4回)
蔵書の更新・管理・整備 (年間)
卒業生、会員病院職員への図書室の開放 (利用者数51人)
 - ⑭ 心の相談室「ひだまり」の開設 (11日/利用者13件)
- (4) 看護師等学校養成所指定規則等の遵守と円滑な実施
- ① 看護師等学校養成所指定規則等関係法令遵守
 - ② 学校評価に関する自己評価の実施と評価結果の分析
学校評価自己点検・自己評価 職員等対象アンケート : 12月実施
自己評価結果の分析 : 1月～3月
 - ③ 学校関係者評価委員会の開催 : 3月24日開催
- (5) 学校施設の整備
経年変化による性能劣化が著しい設備等の改修工事を実施しました
各教室改修、高圧ケーブル改修、玄関建具施錠改修等
- (6) 指導官庁、機関との協調
滋賀県及び大津市、厚生労働省近畿厚生局等行政当局との連携を密とし、適正な運営に努めました。

事業報告の附則明細書

令和元年度事業報告には、定款第38条第1項(2)に規定する「事業報告の附属明細書」は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年4月30日

公益社団法人滋賀県私立病院協会